

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2021年度 第5回理事会

議事録

日時：2022年7月24日（日）16：00～17：50

場所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、保科実、鈴木久三郎、隅野礼雄、大日方邦子、夏目堅司、二星謙一、渡辺孝次、高浜成行、桜本利幸、中村実彦、狩野亮、石原勝広、小林清美、田原麗衣、井上真司、辻村和見、（18名）

委任出席者：荒井秀樹、山口聖子、岩間秀子、東海林志朗、鹿島（吉龍）忍、小林（井口）深雪、（6名）

欠席者：安藤佳代子、中村勝彦、新田佳浩（3名）

欠席監事：大内智、宮田隆司（2名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、27名中出席24名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市副会長、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

【審議事項】

（1）2022年度各本部・委員会の事業計画・予算について

保科：総務委員会の事業計画・予算について説明が行われた。

鈴木：法務倫理委員会とダイバシティ委員会の事業計画・予算について説明が行われた。

普及委員会の事業計画・予算については、安藤本部長に代わり夏目さん・渡辺さん・二星さんからそれぞれの競技の事業計画・予算について説明が行われた。

保科：大会運営委員会の事業計画・予算について説明が行われた。23年にID合同大会を札幌市で2月18-19日で開催予定。ノルディックのコンチネンタルカップ（ウクライナ親善）を札幌市で3月18日-21日に開催予定。（レースはクロカンのみ）

野沢のジャパンカップは3日間の予定。ジャパラは3月の開催は出来なくなり2月21日-23日でSGレースを予定しています。（ユース大会に相乗りの形で）

保科：AD委員会、国際委員会の事業計画・予算について説明が行われた。

大日方：強化本部の事業計画・予算について説明が行われた。

隅野：広報委員会とマーケティング委員会の事業計画・予算について説明が行われた。

石丸：事務局の予算について説明を行った。

石丸：強化5チームの事業計画と予算は現在暫定的なものです。9月に強化費の交付額が確定するので確定した段階で最終の事業計画・事業予算（団体拠出金・選手参加費を含めて）を組み直すことになっています。

議長：2022年度の各委員会・本部・事務局の事業計画・事業予算について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(2) 2022 年度連盟予算について

石丸：強化 5 チームの収入と支出は今後の助成金交付額によって変動はありますが、連盟全体としての予算は配布資料の通りです。収支のバランスを取ったものになっていますが、若干のマイナスになっています。

古市：予算の段階でマイナスは望ましくない、予備費で調整できないか。

椎名：予備費は触りたくないの、マーケティング委員会のグッズ費用を削減することで調整してください。

議長：2022 年度の連盟予算について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(3) 2022 年度強化指定選手選考基準と強化指定選手について

夏目：AS-PH と ID-AS チームの強化選手選考基準の説明と基準により選考した選手について説明が行われた。

渡辺：NS-PH と ID-NS チームの強化選手選考基準の説明と基準により選考した選手について説明が行われた。次世代の唯野選手の期間延長と半谷選手を次世代育成選手にすることについては理事会承認事項なので承認をお願いします。

二星：SB-PH チームの強化選手選考基準の説明と基準により選考した選手について説明が行われた。

議長：各チームの強化指定選手選考基準と強化指定選手（次世代を含む）とノルディックチームから説明のあった唯野選手と半谷選手の次世代認定について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(4) 競技者登録規程と強化指定選手誓約書の改定について

保科：個人で WPSS や VIRTUS の国際大会に参加することを禁止するために、競技者登録規程と強化指定選手誓約書に一文追加するようにしたい。修正したもので 8 月 1 日からの競技者登録や誓約書のオンラインサインを進めたいと思います。選手の権利を制限することになるので、リーガルチェックを行うようにします。

二星：リーガルチェック対応後の周知を望みます。

議長：競技者登録規程と強化指定選手誓約書の改定について、承認を求めたところ賛成多数で承認された。（但し、リーガルチェックによって修正が必要な場合は、チェック後の内容に改定することとした）

(5) 大会運営委員会委員推薦について

保科：大会運営委員会の委員は、保科、田原の 2 名のため委員に中馬さんを推薦します。競技スキーを今も続けていて、ボランティアに興味を持っている方です。

議長：中馬さんを大会運営委員会の委員にすることについて、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(6) アルペン委員長の交代について

椎名：夏目委員長が辞意を示されたので、石井ヘッドコーチに代わりをお願いしたい。石井さんは理事ではないので、石井さんには理事待遇となってもらい委員長職に8月より就いてもらう予定です。

議長：夏目委員長に代わり、石井沙織さんを8月1日から理事待遇としアルペン委員長職に就くことについて、承認を求めたところ全員一致で承認された

【報告事項】

(1) 2021年度の仮決算について

鈴木：2021年度の仮決算の見通しについて、資料に沿って説明を行った。8月から6月は実績で、7月は見込みの数字になっています。次期繰越金は25200万円程になります。昨年との決算比較では、パラリンピックイヤーのため助成金収入が4000万円程増えています。

(2) ダイバーシティ研修会の結果報告について

大日方：鹿島委員長に代わり研修会の結果について報告が行われた。目的とゴール、概要、参加者数、研修後の感想等を資料に沿って説明された。

(3) さっぽろスノースポーツフェスタ 2023について

渡辺：札幌スノースポーツフェスタ 2023 委員会より椎名会長に役員就任のお願いがありました。2030札幌オリパラ招致機運醸成も目的になっている活動です。

椎名：役員就任受けます。

(4) ウクライナチームへの寄附金について

椎名：当初集めた寄附金から500万円は既に送金済。残った金額については、年度を跨ぐので課税対象になるが、来年のWPNS札幌CC大会にウクライナチームを招待するための費用として使用することを常任理事会で決めました。

【その他】

* 今後の会議日程について

9月7日に常任理事会、10月8日に理事会を予定。総会準備のための会議になります。10月23日(日)に定期総会を日本財団ビル会議室で開催します。

* 予算申請のなかった用具技術開発委員会、医科学情報委員会も事業計画は立てて理事会までに報告してください。

* 中村実彦理事より、IPCのFISへのガバナンス統合について説明がありました。

* 大日方理事より23年の世界選手権の会場であるオーレが辞退したと報告がありました。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2022年7月24日

議事録署名人

議長 椎名 茂

議事録署名人 古市 隆一

議事録署名人 隅野 礼雄